

# だれでもできる

# 出来形管理システム

## 目 次

### □ デキスパート基本部での操作

01 新規工事を作成する	1
02 出来形管理システムを起動する	2

### □ 工種一覧

03 提出先を選択する	3
04 工種を作成する	4

### □ データ入力

05 データを入力する	6
06 略図を編集する	7
07 測定項目を作成する	9
08 測定項目を削除する	11
09 測点を作成する	12
10 測点を並べ替える	13
11 社内規格値を一括で設定する	14
12 設計値・実測値を入力する	15
13 データを保存する	17

### □ 印刷プレビュー

14 帳票の印刷プレビューを確認する	18
15 帳票を選択する	19
16 帳票を編集する	20
17 印刷する測点・測定項目を選択する	21
18 帳票を拡大表示する	22
19 印刷する許容範囲を選択する	23
20 許容範囲線の線色・線幅を編集する	24
21 グラフの数値の位置を変更する	25
22 編集した帳票を保存し、終了する	27
23 帳票を印刷する	28
24 出来形管理システムを終了する	30

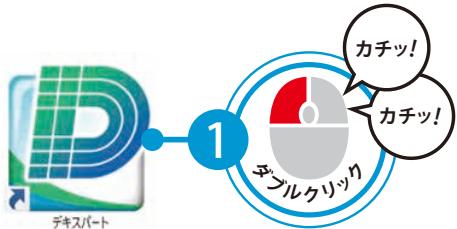
Lesson

# 01

## 新規工事を作成する

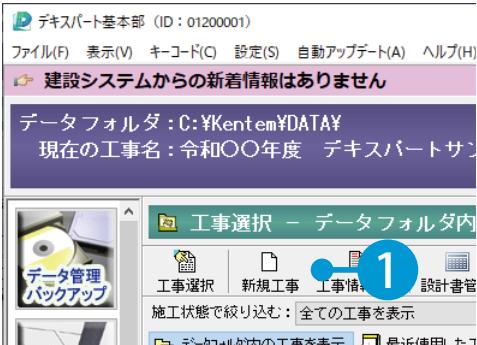
デキスパート基本部を起動し、新規工事を作成します。

### 01 | デキスパート基本部を起動します。



### 02 | 新規工事を作成し、工事情報を入力します。

1 [新規工事] をクリックします。



2 工事情報を入力します。

1

# 出来形管理システムを起動する

デキスパート基本部のオプションボタンをクリックし、出来形管理システムを起動します。

## 01 | 出来形管理システムを起動します。

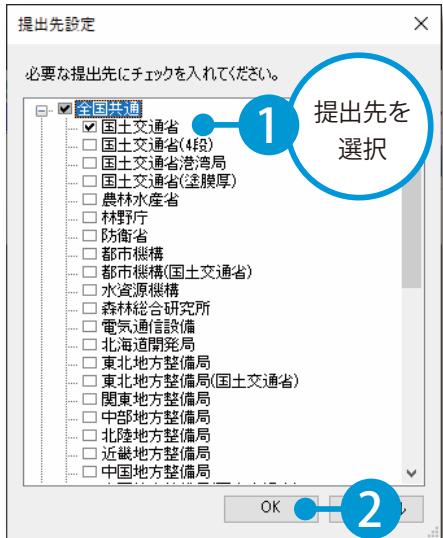


# 提出先を選択する

提出先（発注者）を選択します。提出先（様式）を変更したい場合は、[提出先選択]を実行してください。

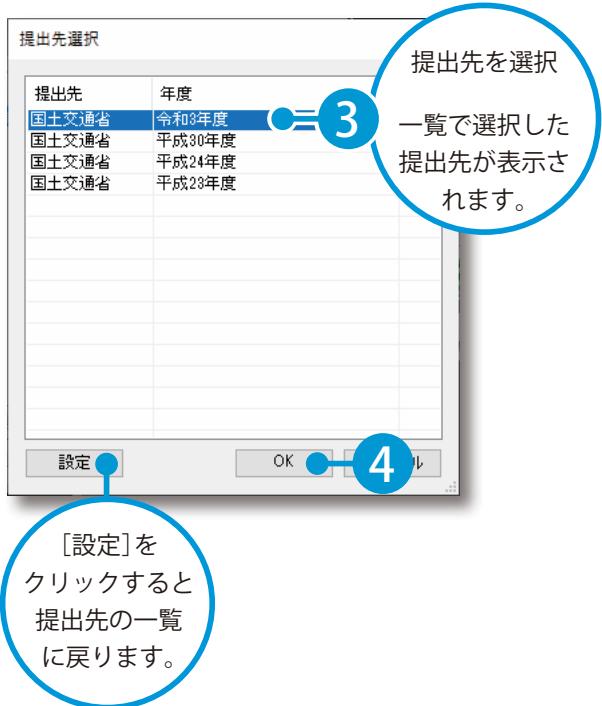
## 01 | 提出先（発注者）を選択します。

- 1 提出先の一覧から、必要な提出先を選択します。



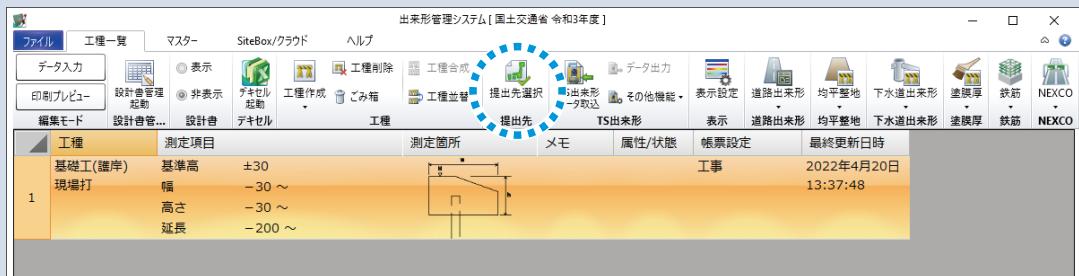
※初回のみ、自動で表示されます。

- 2 提出先を選択します。



### 提出先選択画面が表示されない、印刷する帳票を別の提出先に変更したい場合

[工種一覧] → [提出先] → [提出先選択] をクリックします。



# 工種を作成する (出来形管理基準を参照)

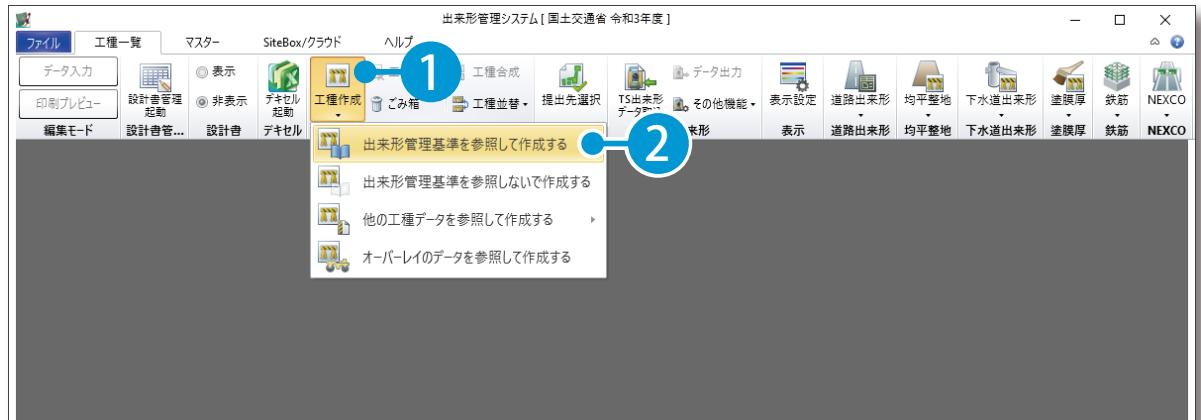
現在編集中の工事に工種を作成します。

新しい管理工種を作成したい場合などには、[工種作成] を実行します。

## ⚠ 設計書管理機能で工種を登録している場合

設計書管理の使い方については、「設計書管理 基本操作マニュアル」をご参照ください。

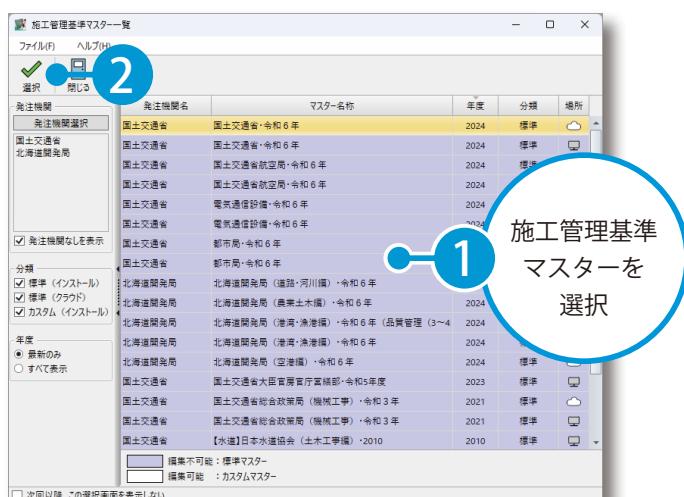
## 01 | ここでは、出来形管理基準を参照して作成します。



## 02 | 出来形管理基準を選択します。

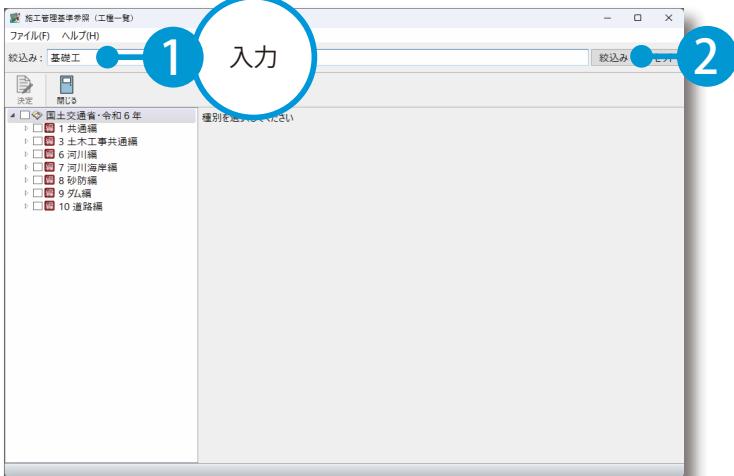
### よくあるお問い合わせ

マスター名称欄に施工管理基準マスターが何も表示されない場合は、インターネット回線へ接続して標準（クラウド）のマスターを参照してください。または出来形管理システムを終了し、保守会員様専用サイトから施工管理基準マスターをインストールして、出来形管理システムを起動し、[工種作成] を実行してください。標準（クラウド）のマスターを参照する場合は、施工管理基準マスター一覧画面で分類チェックボックスの [標準（クラウド）] にチェックを付けてください。

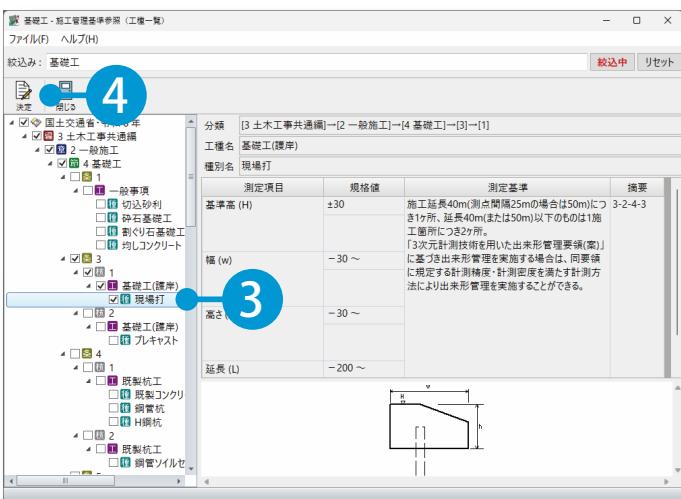


## 03 | 工種・種別を選択します。

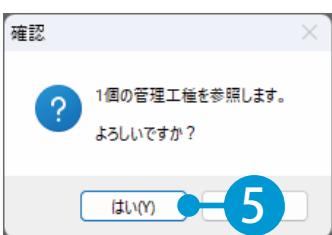
### 1 工種・種別を絞り込みます。



### 2 絞り込み結果が表示されるので、必要な種別をチェックします。 必要な種別をすべて選択し、[決定] をクリックします。



### 3 [はい] をクリックすると、取り込まれます。



5

# データを入力する

工種を選択後、設計値・実測値などを入力したい場合は、[データ入力]を実行します。データ入力画面に切り替わります。

## 01 | 画面左上の [データ入力] をクリックします。



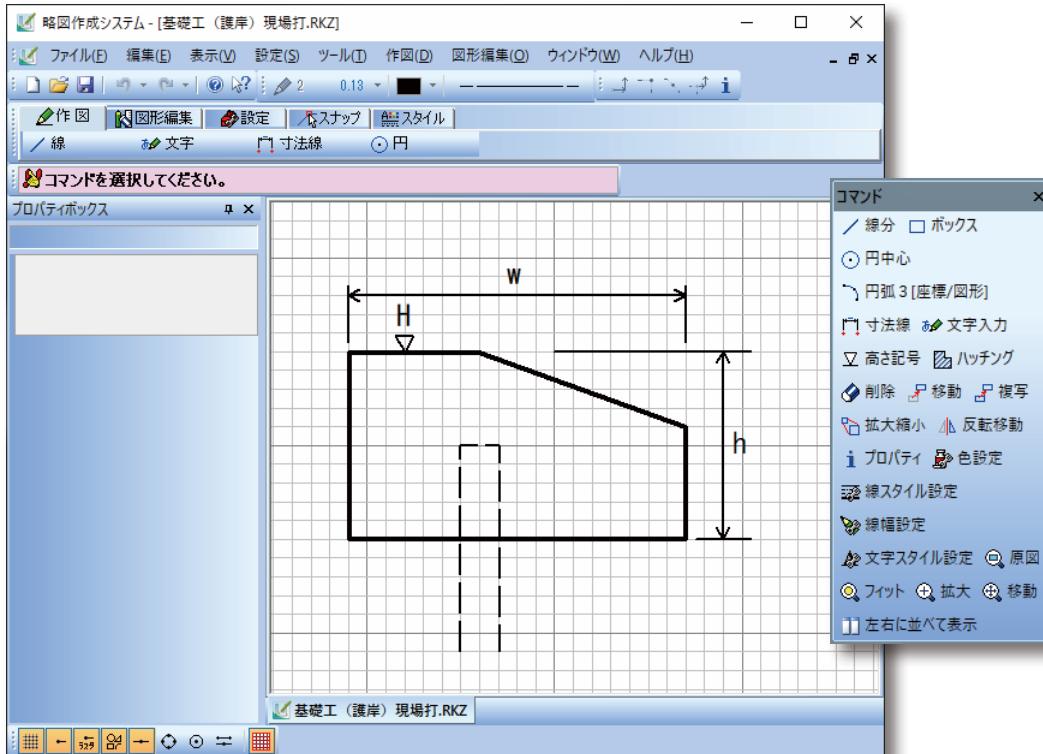
編集している工種に連結されている略図を略図作成システムで編集します。

## 01 | 略図を編集するアプリケーションを起動します。

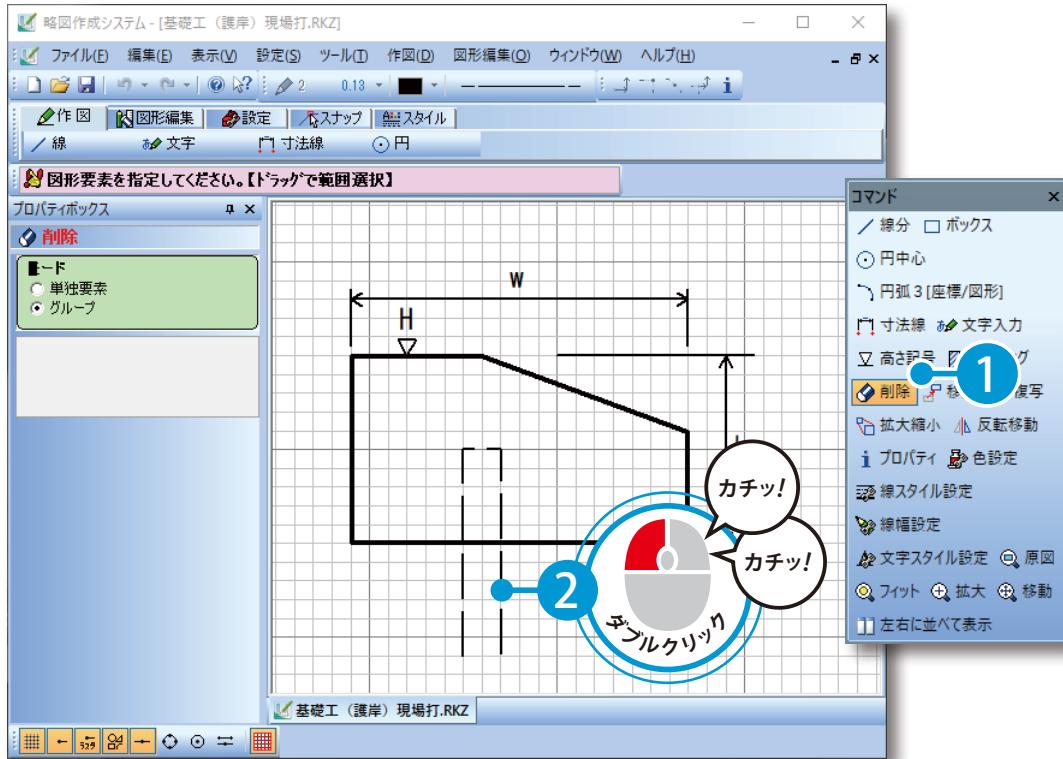
- 1 [略図設定] → [略図編集] をクリックします。



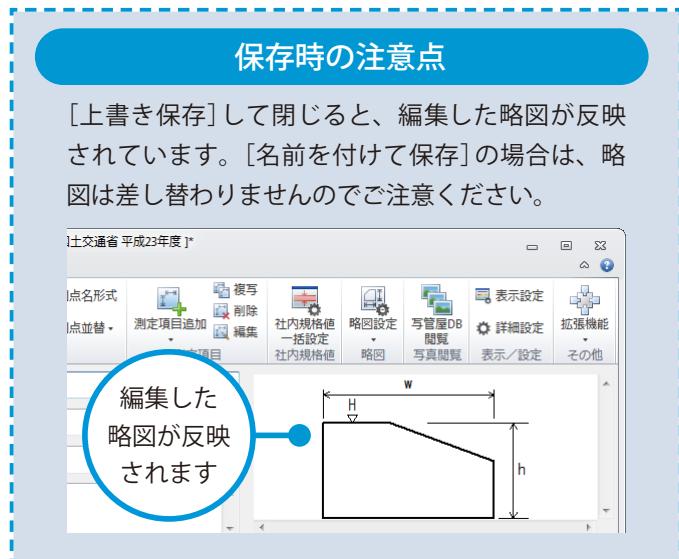
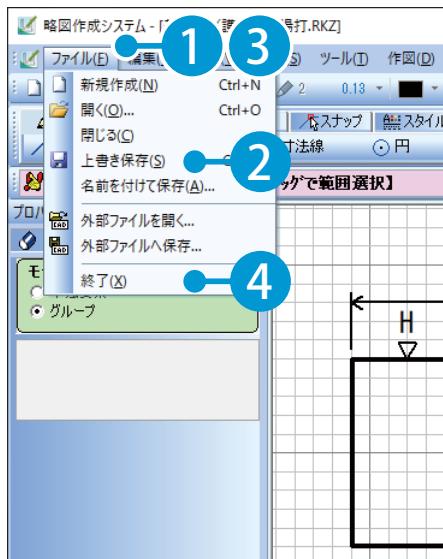
- 2 略図作成システムが起動します。



## 02 | [削除] コマンドで、不要な図形を削除します。



## 03 | ファイルメニューから保存して、略図作成システムを終了します。



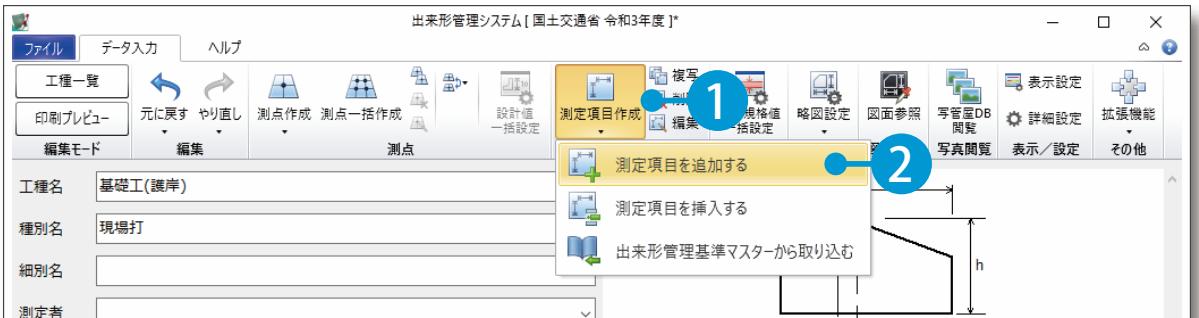
略図作成システムに関する詳しい操作は、マニュアル・ヘルプをご覧ください。

# 測定項目を作成する

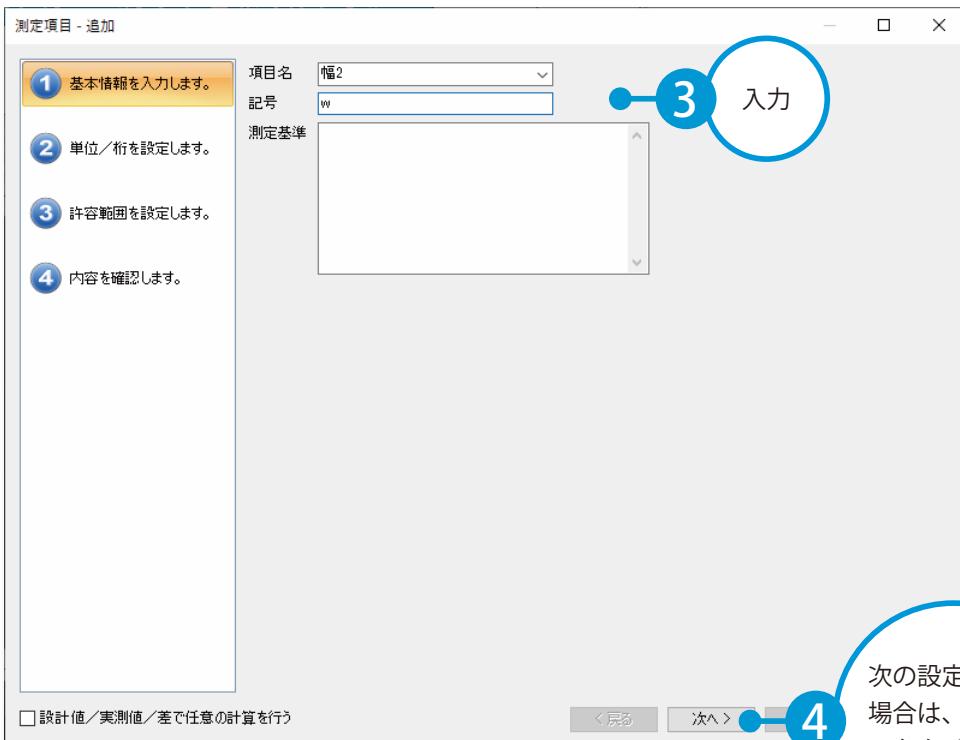
測定項目を作成します。

## 01 | 測定項目の基本情報、単位 / 衍、許容範囲を入力します。

- 1 [測定項目作成] → [測定項目を追加する] をクリックします。



- 2 項目名、記号、測定基準を入力します。



### 3 設計値・実測値および差・許容範囲の単位、小数桁、小数点以下の丸め方を設定します。

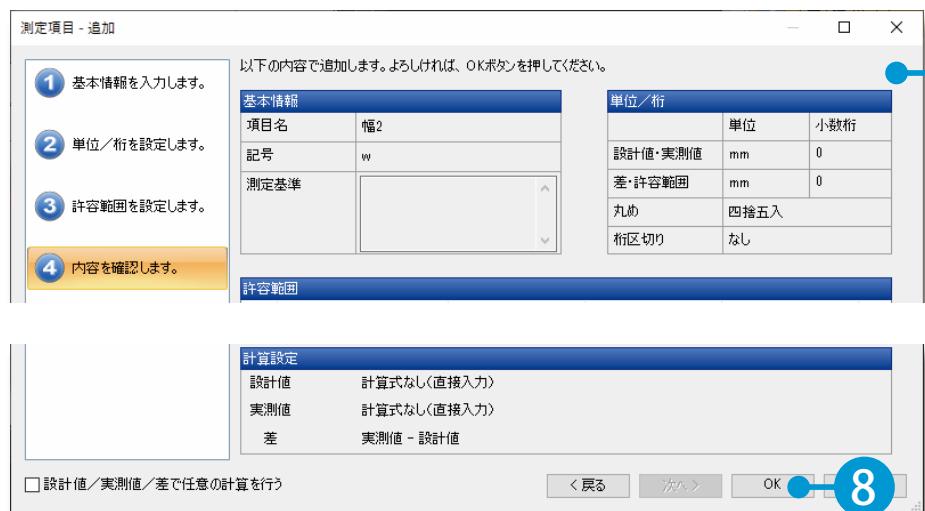


### 4 次に「値入力」または「式入力」を選択し、各欄に許容範囲を入力します。

※社内規格値は、後から一括で入力することができます。(14 ページ参照)



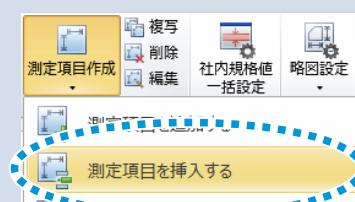
### 5 最後に、入力した内容を確認します。



### 任意の位置に挿入したい場合

挿入したい位置の下の測定項目を選択し、[測定項目作成] → [測定項目を挿入する] をクリックします。

※選択している測定項目の上に挿入されます。



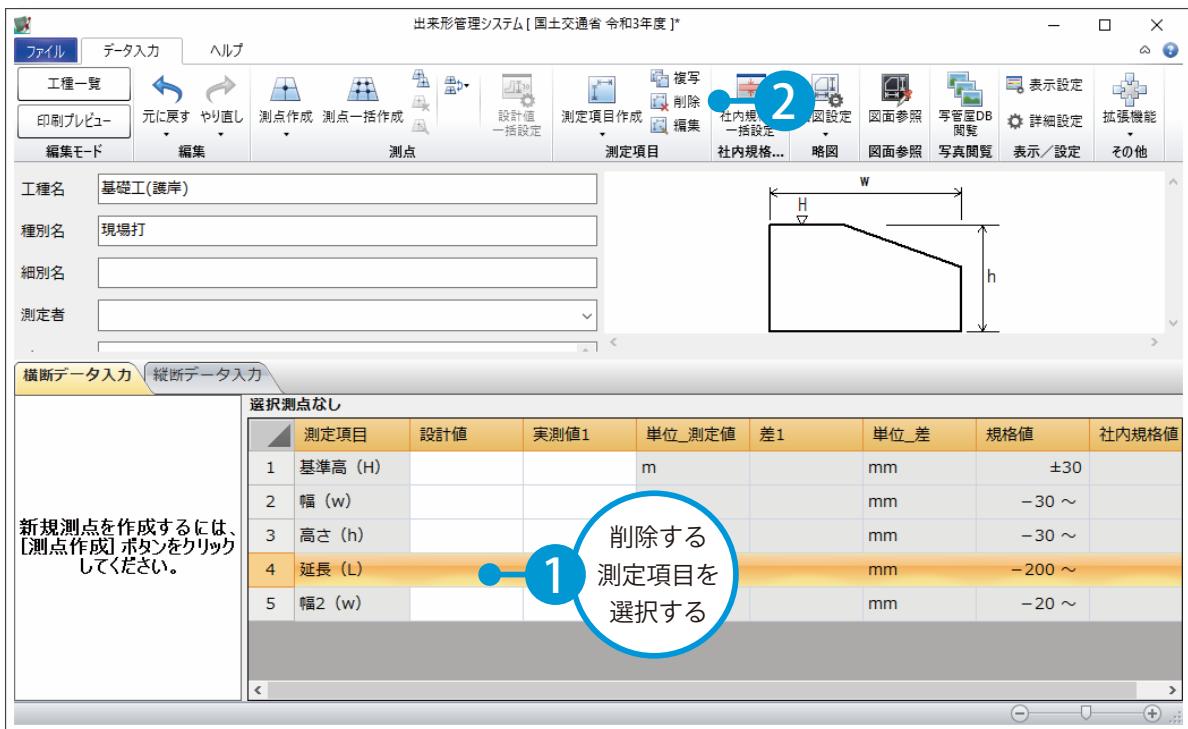
10

# 測定項目を削除する

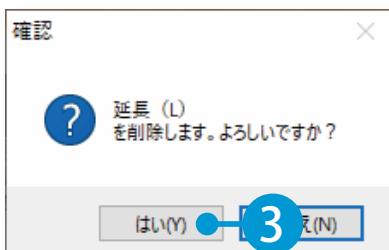
選択している測定項目を削除します。

## 01 | 測定項目を削除します。

- 1 削除する測定項目を選択し、[測定項目] → [削除] をクリックします。



- 2 「はい」をクリックすると、削除されます。

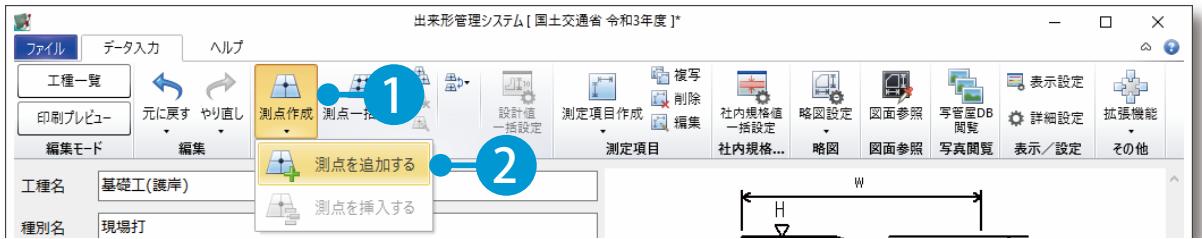


# 測点を作成する

測点を作成します。

## 01 | 測点を作成します。

- 1 [測点作成] → [測点を追加する] をクリックします。



- 2 測点名、測定日を入力します。



- 3 画面の左下に、測点が追加されます。



### 測点を一括で作成したい場合

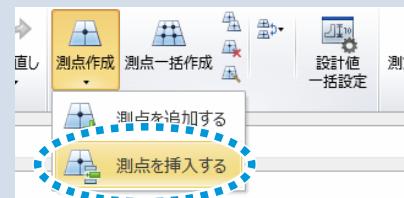
[測点一括作成] をクリックします。



※ [印刷プレビュー] → [帳票編集] でも  
測点を一括で作成できます。

### 任意の位置に挿入したい場合

挿入したい位置の下の測点を選択し、  
[測点作成] → [測点を挿入する] を  
クリックします。



※選択している測点の上に挿入されます。

測点の並び順を変更します。測点を昇順で並べ替えた場合や、測点の順番が異なる場合などには、[測点並替] を実行します。

## 01 昇順（降順）に並べ替えます。

変更前		変更後	
横断データ入力	縦断データ入力	横断データ入力	縦断データ入力
No.1	No.1	BC	No.1
No.2	No.2	No.1+10	No.2
No.1+10		No.1+10	
BC		BC	
	1		1
	2		2

## 02 | 選択した測点をひとつ下に移動（上へ移動）します。

1 移動したい測点を選択し、右クリック [下へ移動] をクリックします。

2 測点が移動します。

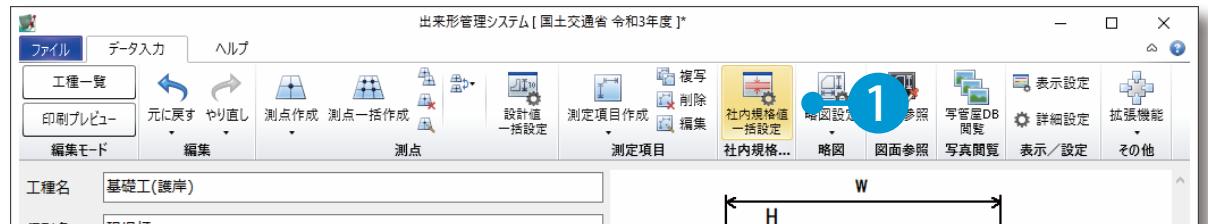
測定項目
1 基準高 (H)
2 幅 (w)
3 高さ (h)
4 幅2 (w)

# 社内規格値を一括で設定する

すべての測定項目の社内規格値を一括で設定します。社内規格値を規格値の80%に設定したい場合などには、[社内規格値一括設定]を実行します。

## 01 | 社内規格値を一括で設定します。

- 1 [社内規格値一括設定]をクリックします。



- 2 規格値または基準値の何%にするか設定します。

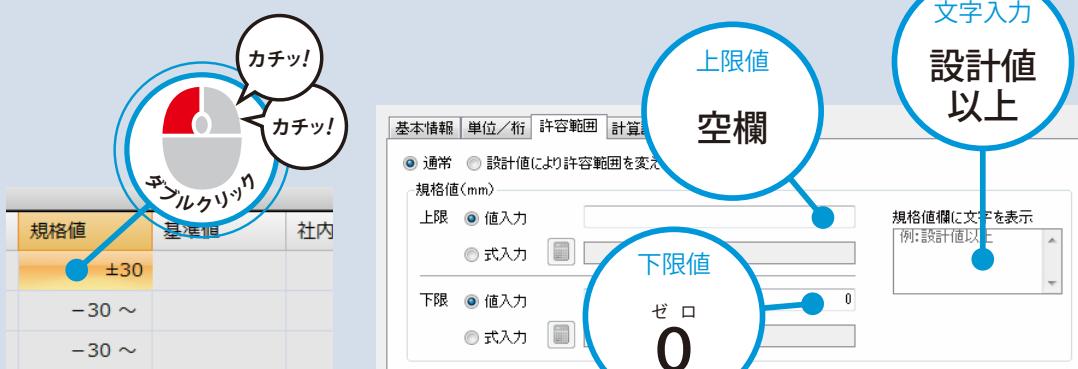


- 3 すべての測定項目の社内規格値が設定されます。

差2	単位_差	規格値	基準値	社内規格値
	mm	±30		±24
	mm	-30 ~		-24 ~
	mm	-30 ~		-24 ~
	mm	-20 ~		-16 ~

### 帳票の規格値欄に「設計値以上」と表示させたい場合

規格値欄をダブルクリックし、表示される画面で下図のように設定してください。



# 設計値・実測値を入力する

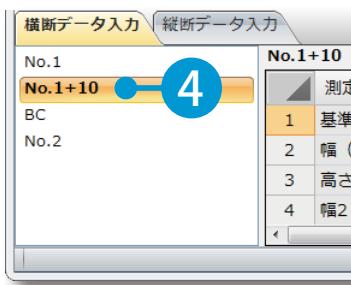
出来形のデータ入力には、測点ごとに測定項目を一覧で表示する[横断データ入力]と、測定項目ごとに測点を一覧で表示する[縦断データ入力]があります。

## 01 | 横断データ入力で、設計値・実測値を入力します。

- 1 [横断データ入力] → [測点] → [入力する箇所] をクリックし、入力します。



- 2 次の測点を入力します。



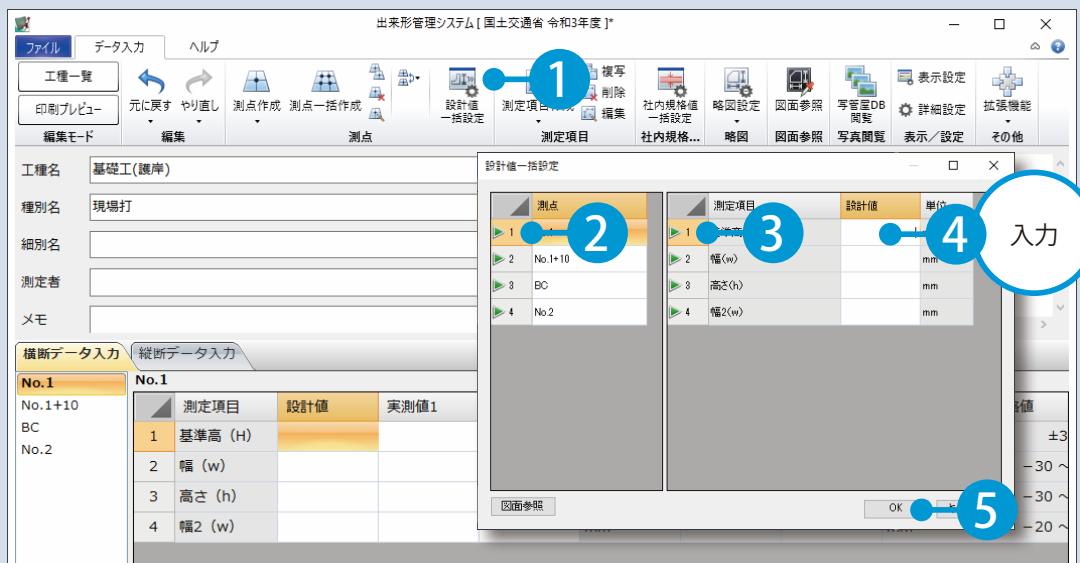
### 測点を測定項目ごとに画面表示したい場合

- [縦断データ入力] をクリックします。



## 設計値を一括で作成したい場合

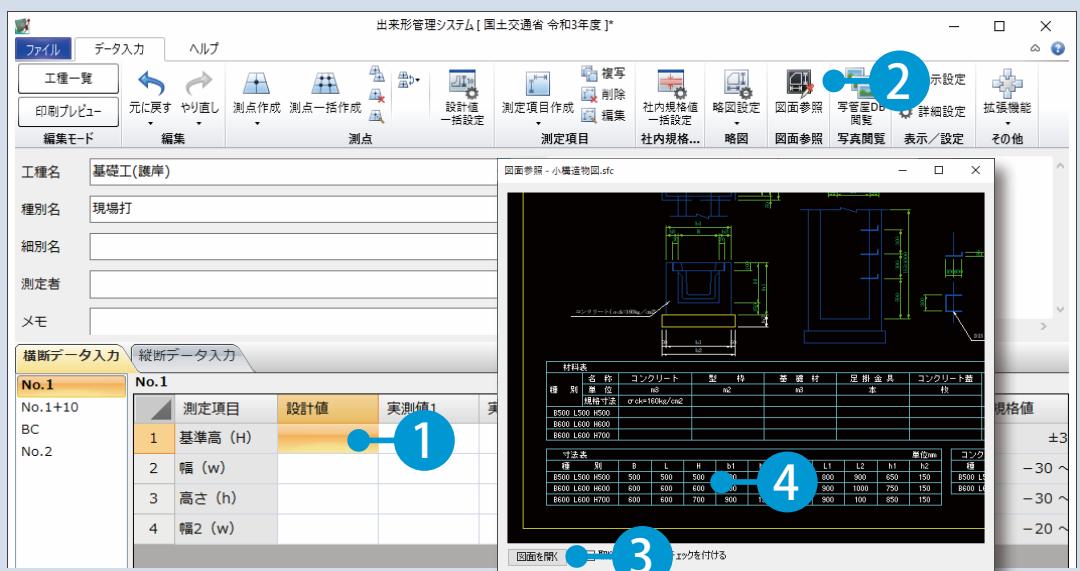
[設計値一括設定] をクリックし、測点・測定項目を選択し、各測定項目欄に設計値を入力します。



※ [印刷プレビュー] → [帳票編集] でも設計値を一括で設定できます。

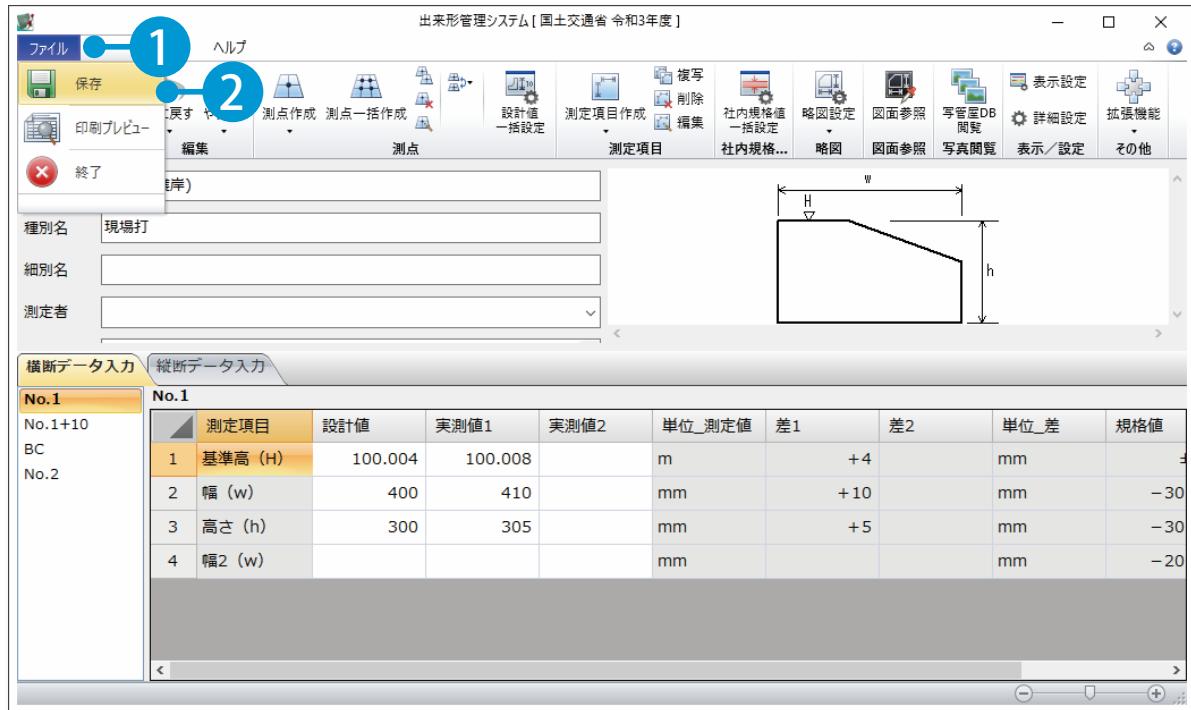
## 図面上の設計値を取り込みたい場合

[図面参照] をクリックし、図面ファイルを選択します。設計値欄を選択し、図面上の設計値をクリックして取り込みます。



入力したデータを保存します。

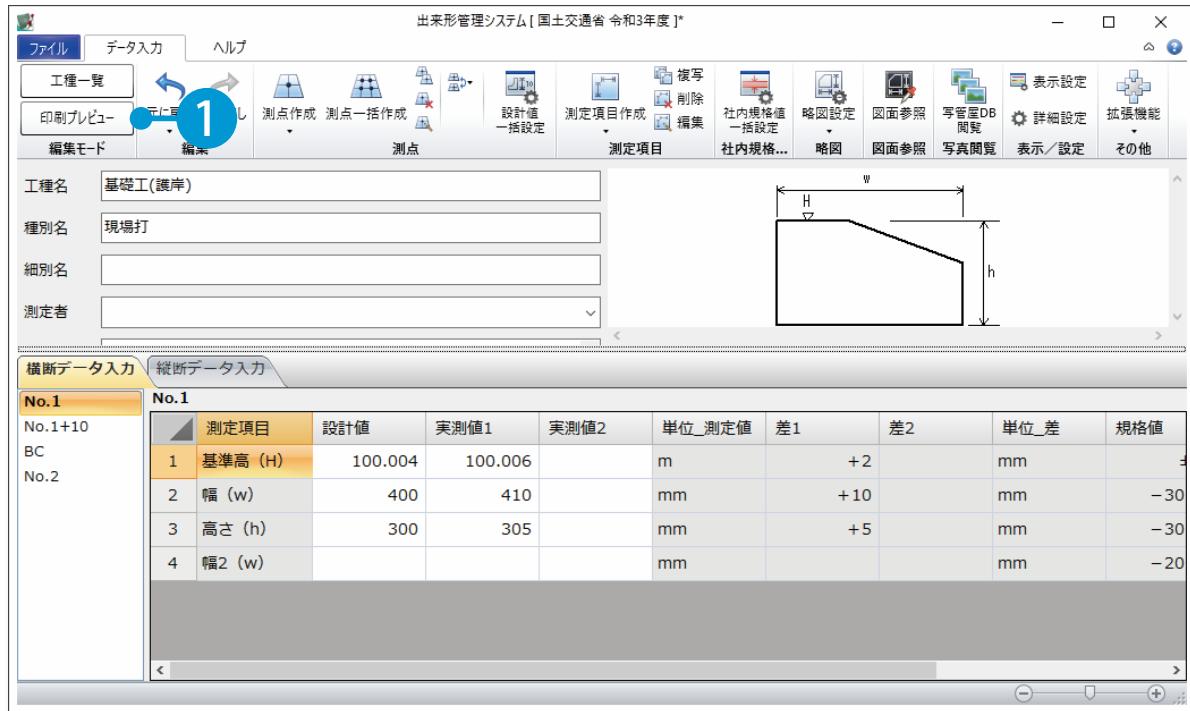
## 01 | ファイルメニューから、保存します。



## 帳票の印刷プレビューを確認する

印刷や出力を実行する前に印刷結果(イメージ)を確認します。

01 | 画面左上の [印刷プレビュー] をクリックします。



# 帳票を選択する

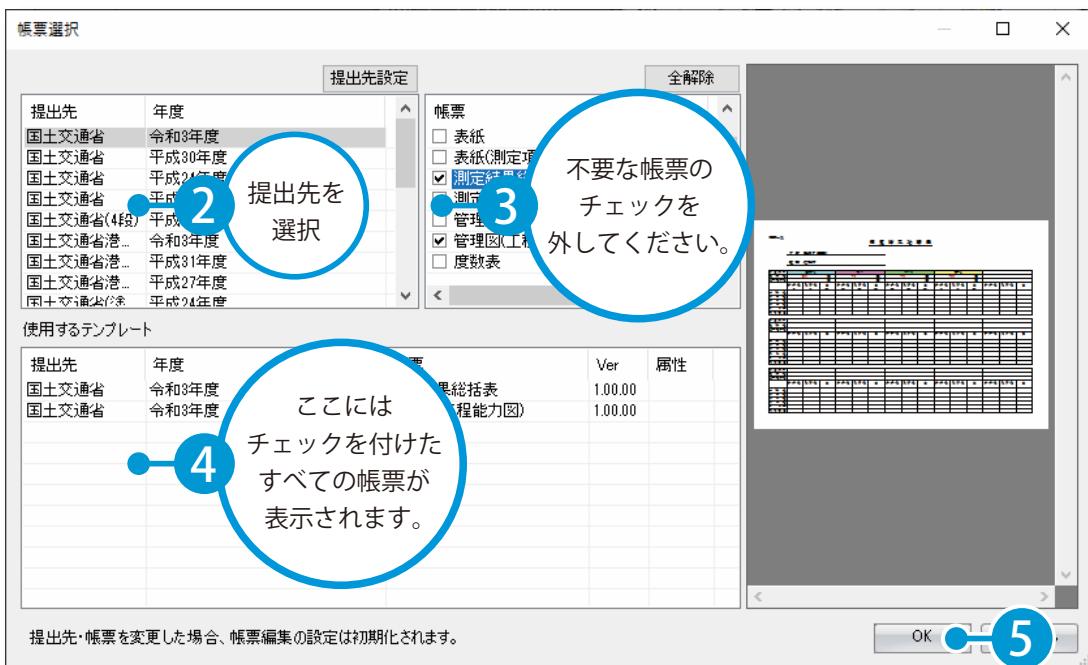
印刷プレビューに表示する帳票を選択します。指定した様式だけ画面表示したい場合などには、[選択] を実行します。

## 01 帳票を選択します。

- 1 [印刷プレビュー] → [帳票選択] をクリックします。



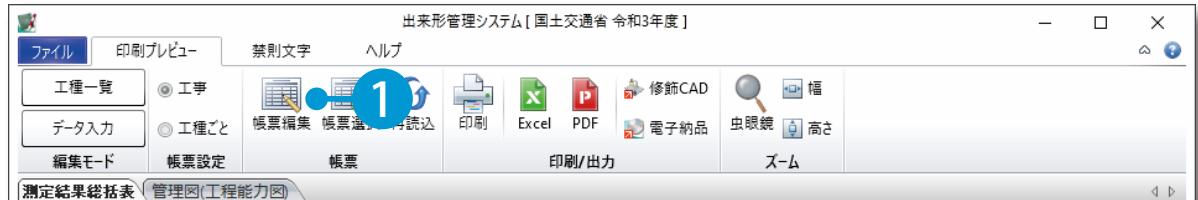
- 2 提出先と帳票を選択します。



# 帳票を編集する

帳票のレイアウトや許容範囲、グラフの表示などを編集するために、帳票編集モードに切り替えます。

## 01 [印刷プレビュー] → [帳票編集] をクリックします。

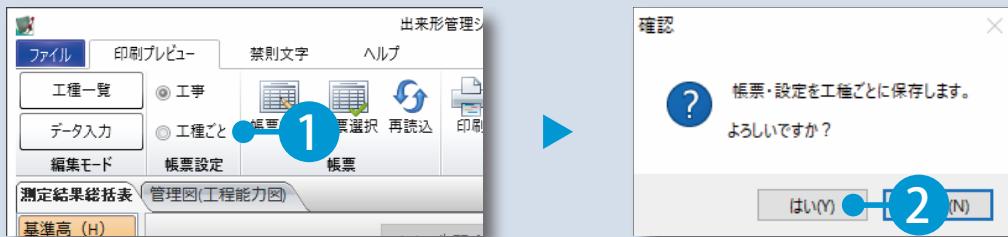


### 編集した内容を工種ごとに保存したい場合

[印刷プレビュー] タブ → [工種ごと] を選択します。

※ [工事] を選択している場合は、工事内の他の工種と共に帳票編集の内容を保持します。

※ [工種ごと] から [工事] に戻した場合は、[工種ごと] にて編集した内容が破棄されます。



### 工種一覧

[工種ごと] に設定した工種は、工種一覧の帳票設定欄に「工種ごと」と表示されます。

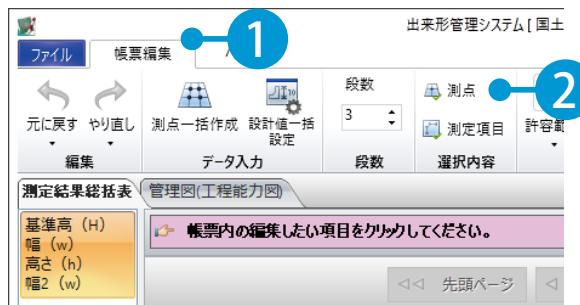
出來形管理システム [ 国土交通省 令和3年度 ]									
工種一覧		マスター		SiteBox/クラウド		ヘルプ			
データ入力		表示		工種削除		工種合成		データ出力	
工種	測定項目	測定箇所	メモ	属性/状態	帳票設定	最終更新日時	工事	工事	工事
1 基礎工(護岸)	基準高 ±30 幅 -30 ~ 高さ -30 ~ 幅2 -20 ~				工種ごと	2022年4月25日 17:35:03			
2 挖削工 1	基準高 ±50 基準高 ±50 法長 I < 5.000 -200 ~ 5.000 ≤ I [法長 (I) ...]						2022年4月25日 17:34:18		
盛土工	基準高 -50 ~								

## 印刷する測点・測定項目を選択する

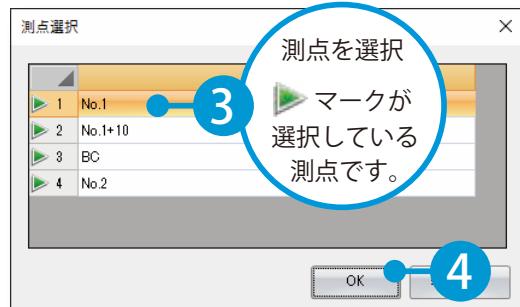
帳票に印刷する測点・測定項目を選択します。

## 01 帳票に印刷する測点を選択します。

1 [帳票編集]タブ→[測点]をクリックします。

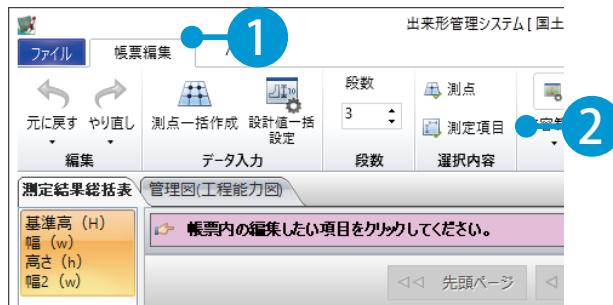


2 印刷する測点を選択します。

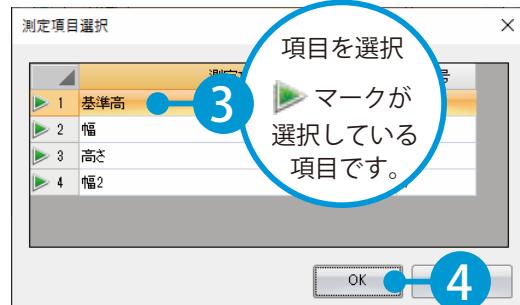


## 02 帳票に印刷する測定項目を選択します。

1 [帳票編集]タブ→[測定項目]をクリックします。



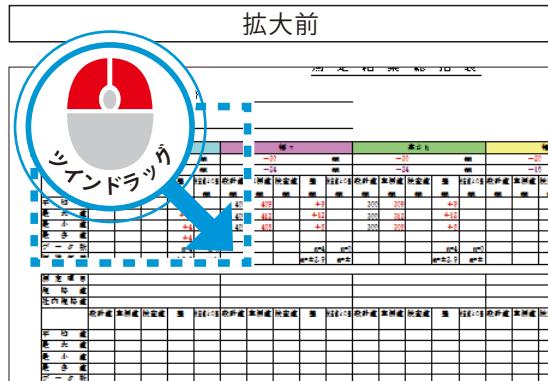
2 印刷する測定項目を選択します。



# 帳票を拡大表示する

ツインドラッグで帳票を拡大表示します。

**01** マウスの右ボタンと左ボタンを同時に押しながら、右下にドラッグ（ツインドラッグ）して拡大表示します。



**拡大後**

測定項目	基準値 H			検査値との差	設計値	実測値
	規格値	社内規格値	設計値			
平均値	±30	mm	mm	+10	400	4
最大値		mm	mm	+17	400	4
最小値		mm	mm	+4	400	4
最多値		mm	mm	+4	400	4
データ数			n=4	n=0		
標準偏差			m=±7.2	m=±		

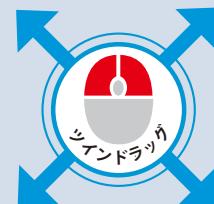
## 特殊なマウス操作について

### ツインドラッグ

マウスの右ボタンと左ボタンを同時に押しながら、マウスを「左上」「右上」「左下」「右下」に動かします。

帳票全体を表示

用紙全体を表示



1つ前に表示していた倍率で表示

ツインドラッグした範囲が拡大

### ホイールドラッグ

マウスホイールを押しながらドラッグします。マウスカーソルが変わり、自由に画面をスクロールできます。  
※マウスホイールが付いたマウスをご使用の場合に限り有効な機能です。

Ctrlキーを押しながら上に動かす(前転)と拡大



### Ctrlキーを押しながら、マウスホイールを動かす

Ctrlキー+マウスホイールで、画面を拡大・縮小することができます。

Ctrlキーを押しながら下に動かす(後転)と縮小



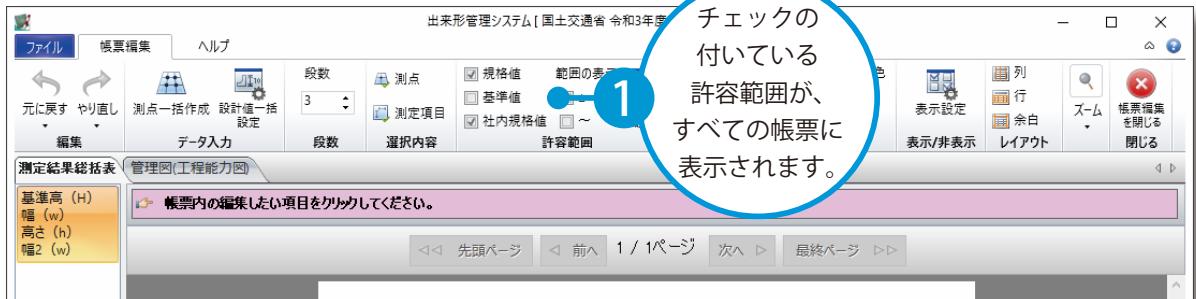
### ツインクリック

マウスの右ボタンと左ボタンを同時にクリックすると、クリックした位置が中心に移動します。

## 印刷する許容範囲を選択する

帳票に印刷する許容範囲を選択します。チェックの付いている許容範囲は、すべての帳票に表示されます。

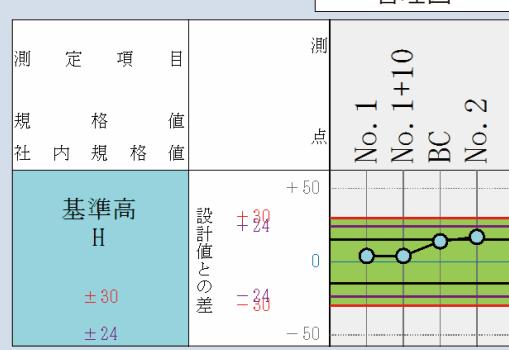
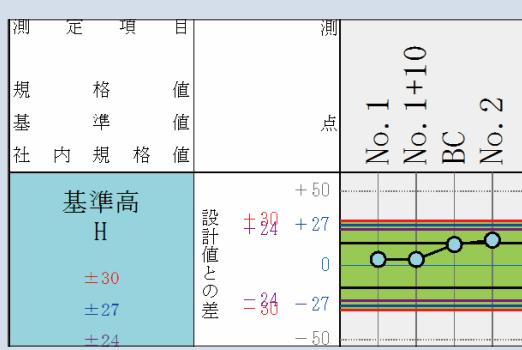
## 01 帳票に印刷したい許容範囲をチェックします。



チェックの付いている許容範囲は、すべての帳票に反映されます。

<input checked="" type="checkbox"/> 規格値	<input type="checkbox"/> 基準値
<input checked="" type="checkbox"/> 基準値	<input type="checkbox"/> 基準値
<input checked="" type="checkbox"/> 社内規格値	<input type="checkbox"/> 社内規格値
の場合	の場合
工種	基礎工（護岸）
種別	現場打
測定項目	基準高 H
規格値	±30
基準値	±27
社内規格値	±24

<input checked="" type="checkbox"/> 規格値	<input type="checkbox"/> 基準値
<input type="checkbox"/> 基準値	<input type="checkbox"/> 基準値
<input checked="" type="checkbox"/> 社内規格値	<input type="checkbox"/> 社内規格値
の場合	の場合
工種	基礎工（護岸）
種別	現場打
測定項目	基準高 H
規格値	±30
基準値	±27
社内規格値	±24
	設計値 実測値 檢査値 差 檢査値との

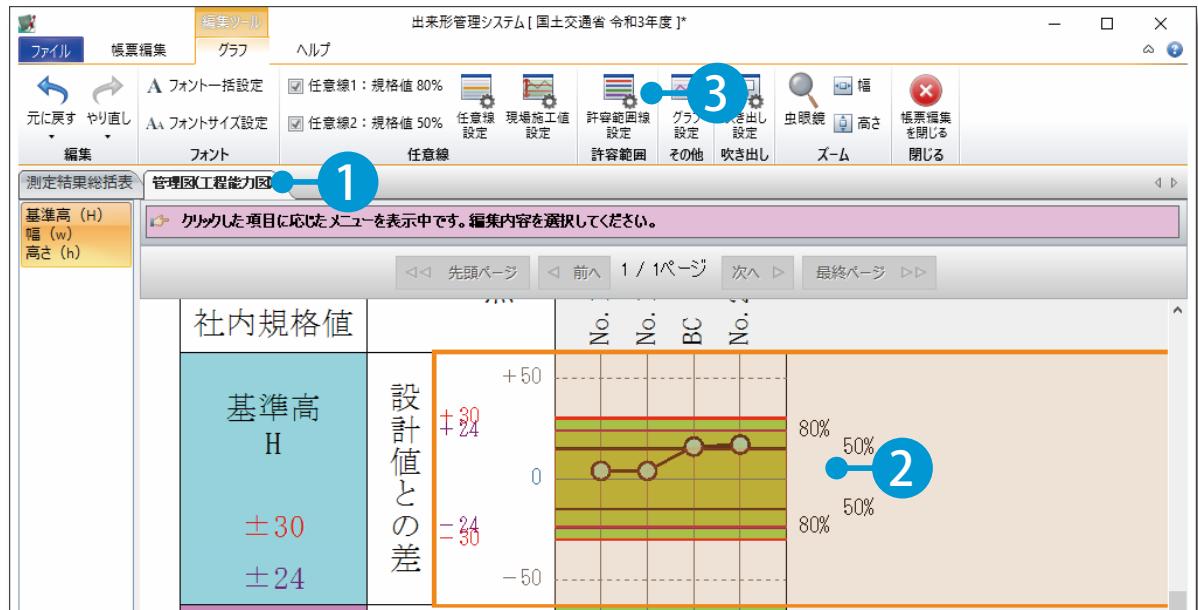


# 許容範囲線の線色・線幅を編集する

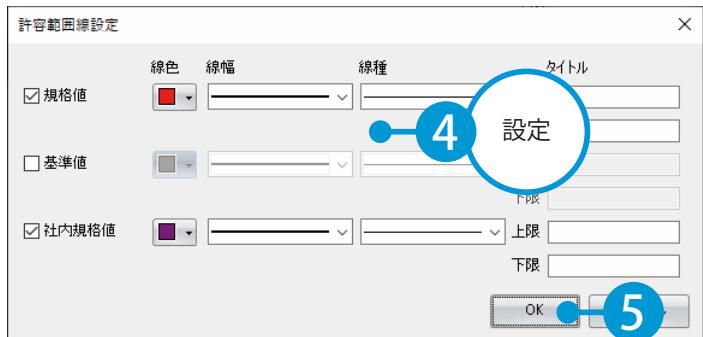
許容範囲線の線色・線幅を編集します。

## 01 | 許容範囲線の線色・線種を編集します。

- 1 グラフがある帳票に切り替え、[帳票内のグラフ] → [許容範囲線設定] をクリックします。



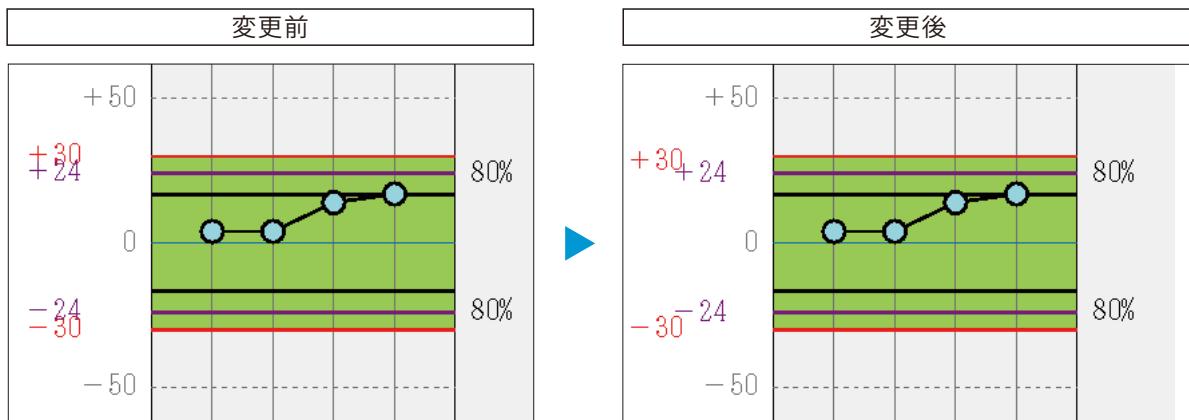
- 2 線色・線幅を設定します。



グラフに表示される数値の重なりを、表示位置を変更したり、上下左右にずらしたりして回避することができます。

## 01 | グラフの数値の表示位置を変更し、数値が重ならないようにします。

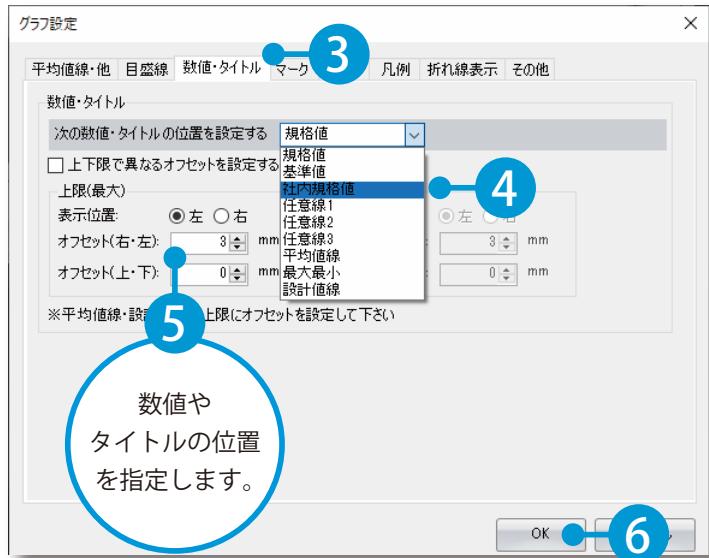
1 ここでは、社内規格値線の数値（±24）の位置を変更します。



2 [帳票内のグラフ] → [グラフ設定] をクリックします。



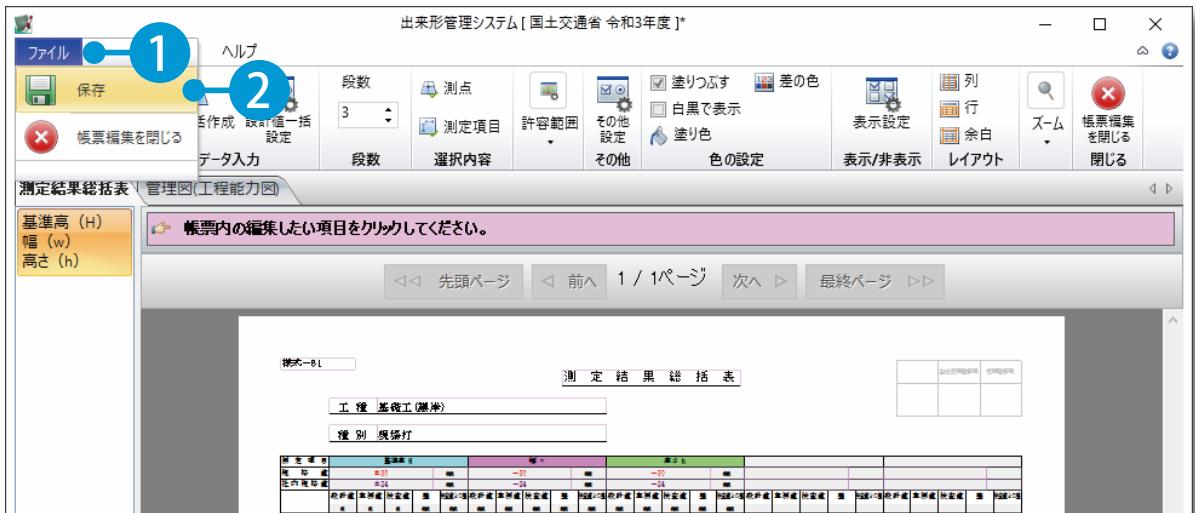
3 [数値・タイトル] タブをクリックし、「社内規格値」を選択し、オフセット欄に数値を入力します。



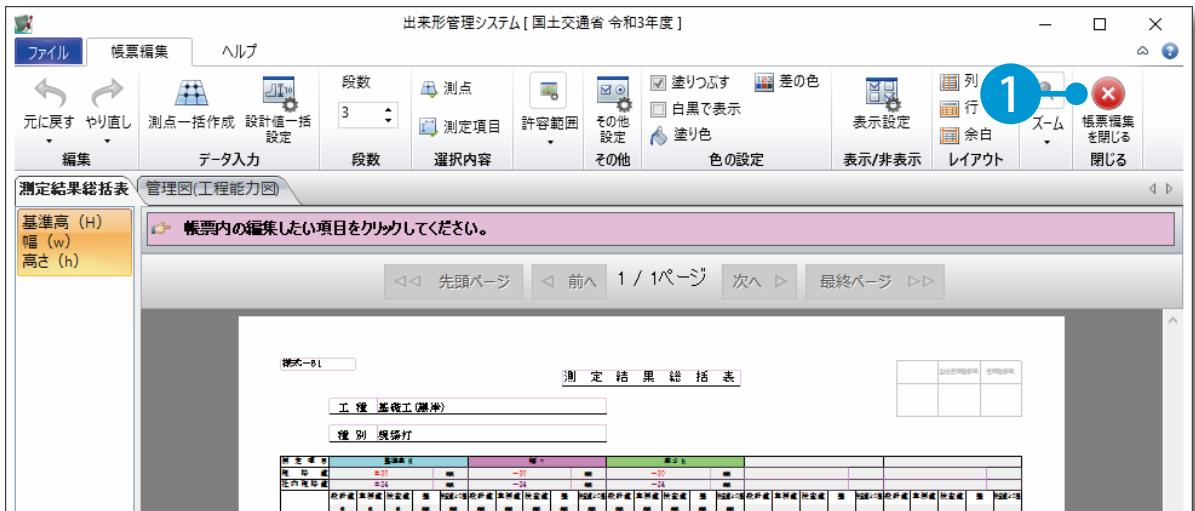
編集した帳票を保存します。

帳票編集モードを終了すると、印刷プレビューに戻ります。

## 01 | ファイルメニューから、保存します。



## 02 | [帳票編集を閉じる] をクリックします。

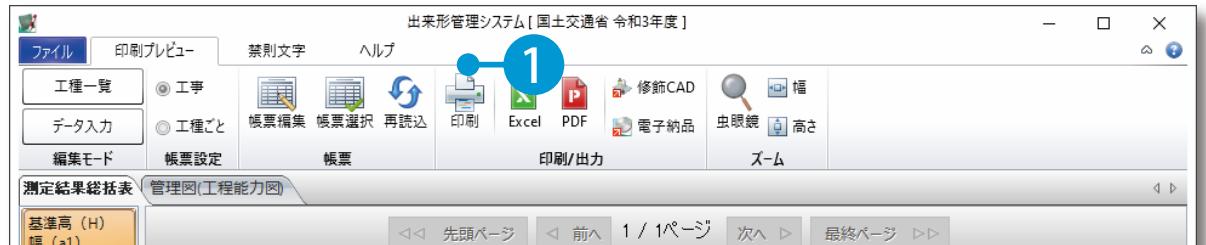


# 帳票を印刷する

プリンタ、部数などを設定し、印刷します。紙に印刷したい場合や、測定結果総括表だけ印刷したい場合などには、[印刷]を実行します。

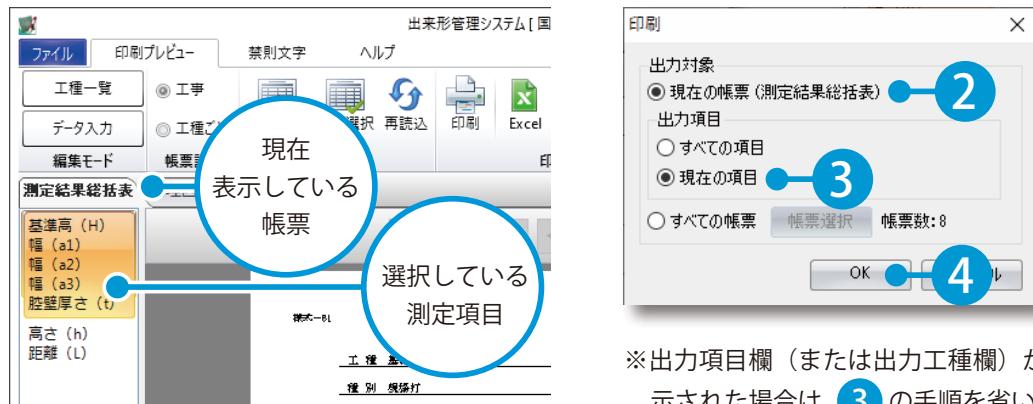
## 01 | 帳票を印刷します。

- 1 [印刷プレビュー] タブ → [印刷] をクリックします。



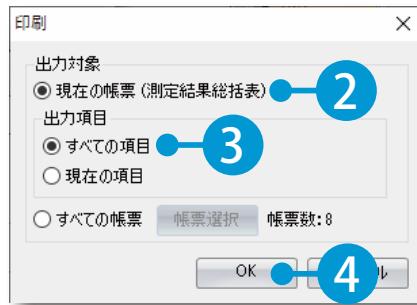
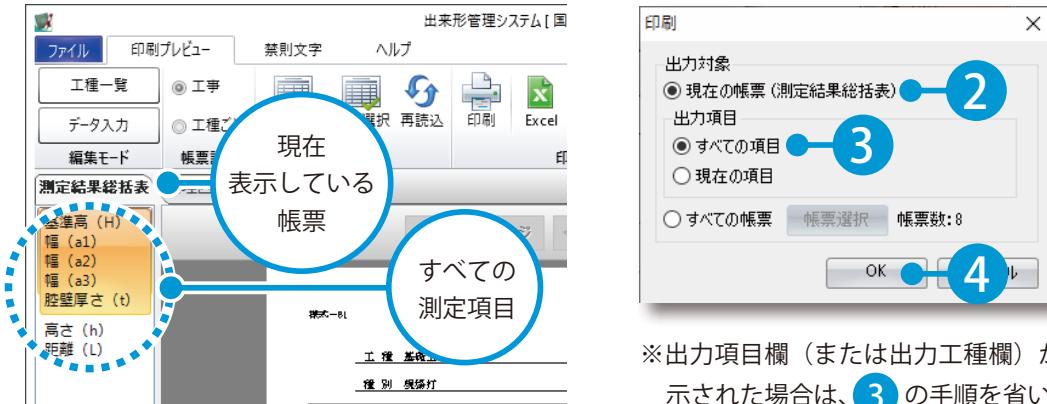
- 2 印刷範囲を設定します。

現在表示している帳票の、選択している測定項目（または工種）を印刷する場合



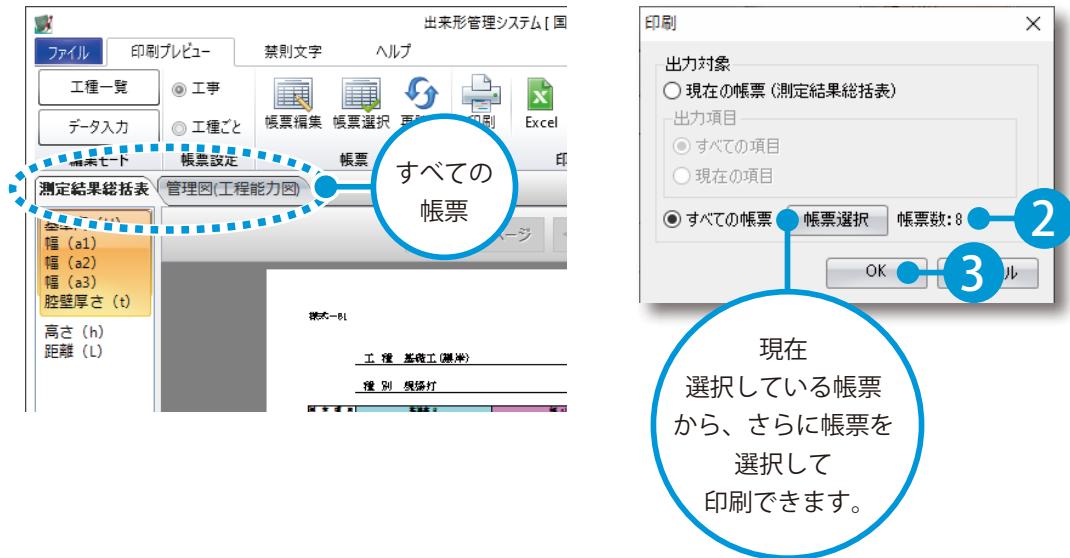
※出力項目欄（または出力工種欄）がない画面が表示された場合は、③の手順を省いてください。

## 現在表示している帳票の、すべての測定項目（または工種）を印刷する場合



※出力項目欄（または出力工種欄）がない画面が表示された場合は、③の手順を省いてください。

## すべての帳票の全ページを印刷する場合



現在  
選択している帳票  
から、さらに帳票を  
選択して  
印刷できます。

## 帳票を Excel 出力・PDF 出力したい場合

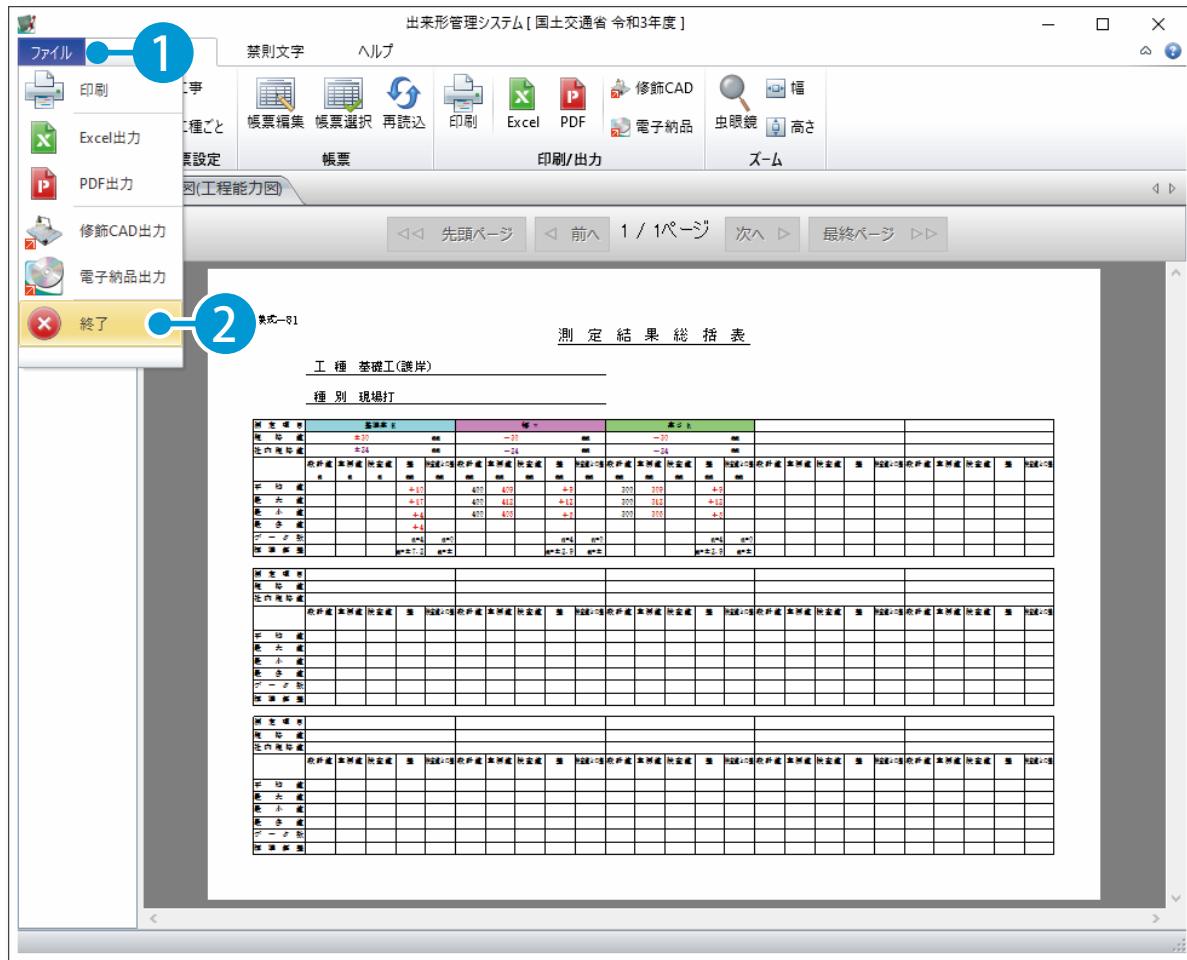
[印刷プレビュー] タブ → [Excel] [PDF] をクリックします。



## 出来形管理システムを終了する

出来形管理システムを終了します。

## 01 ファイルメニューから、終了します。



## ご注意

- (1) 本書の内容およびプログラムの一部、または全部を当社に無断で転載、複製することは禁止されております。
- (2) 本書およびプログラムに関して将来予告なしに変更することがあります。
- (3) プログラムの機能向上、または本書の作成環境によって、本書の内容と実際の画面・操作が異なってしまう可能性があります。この場合には、実際の画面・操作を優先させていただきます。
- (4) 本書の内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点・誤り・記載漏れなどお気付きの点がございましたら、当社までご連絡ください。
- (5) 本書の印刷例および画面上の会社名・数値などは、実在のものとは一切関係ございません。

## 商標および著作権について

Microsoft、Windows、Excel、Word は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Adobe、Acrobat は Adobe KK (アドビ株式会社) の商標です。

その他の社名および製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

## ① ソフトの操作に困ったら「サポートページ」をご活用ください！

機能・操作に関するサポートコンテンツを多数ご用意しております。よくあるご質問(FAQ)、PDFマニュアルなどをご確認いただけます。業務効率化や不明点の確認・学習にお役立てください。

### 「サポートページ」へのアクセス方法

- ① デスクトップにある  
ショートカットをダブルクリックする



- ② 検索サイトから検索する

株式会社 建設システム 〒417-0862 静岡県富士市石坂 312-1 TEL 0570-200-787 FAX 0545-23-2601  
2025年6月16日発行

このマニュアルは、出来形管理システム Ver.5.94.00 の画面で作成しています。